

腎臓・リウマチ膠原病内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	腹膜透析カテーテル出口部感染症を対象とした抗菌薬塗布の有効性に関する多機関共同後ろ向き研究
研究機関名及び研究機関の長 (試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科)内科学講座(腎臓・リウマチ膠原病内科)(職名)准教授(特任)(氏名)鬼無 洋
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>〔利用目的〕 腹膜透析カテーテル出口部感染症を対象とした抗菌薬塗布の有効性を明らかにすることを目的としています。</p> <p>〔対象となる患者さん〕 2017年10月から2022年10月までに腹膜透析出口部感染症と診断され抗菌薬の内服もしくは経静脈投与に加え腹膜透析出口部に抗菌薬を塗布した患者さん</p> <p>〔研究期間〕 研究実施承認日 ~ 2025年2月28日</p> <p>〔利用方法〕 通常の診療中にカルテに記録された診療情報を調査します。 詳しい研究計画画及び研究の方法に関する資料の閲覧または入手が可能です。ご希望される場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。 〔他の機関へ提供される場合はその方法〕 なし。</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：性別・年齢・検査値・出口部所見・出口部画像・出口部排膿培養結果・治療方法等
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	名古屋大学医学部附属病院 病院長 小寺泰弘
提供する試料・情報の取得の方法	電子カルテより診療情報(年齢、性別、抗菌薬塗布の効果等)を取得する。符号化した情報を郵送で取得もしくは符号化した情報にパスワードをかけた電子化し電子メールで取得する

<p>提供する試料・情報 を用いる研究に係る 研究機関名・研究責 任者名</p>	<p>愛知医科大学医学部内科学講座(腎臓・リウマチ膠原病内科) 准教授(特任) 鬼無 洋</p>
<p>利用する者の範囲</p>	<p>愛知医科大学医学部内科学講座(腎臓・リウマチ膠原病内科) 准教授(特任) 鬼無 洋 名古屋大学大学院医学系研究科 腎不全システム治療学寄附講座 特任教授 水野 正司</p>
<p>試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合</p>	<p>本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2024年8月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>愛知医科大学医学部内科学講座(腎臓・リウマチ膠原病内科) 担当者:(職名)准教授(特任) (氏名)鬼無 洋 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23530)</p>